

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスあん			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 8日 ～ 2025年 9月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達：7 放課後等デイサービス：55	(回答者数)	児童発達：3 放課後デイサービス：35
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日 ～ 2025年 9月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題を踏まえ、個々に合わせた支援内容を設定している。	学習態勢を付ける、手指機能の向上を図るため、継続して個々に応じた取り組みを行い、定着させていくようにしている。 面談時やモニタリングのタイミングでニーズ調査を実施することで、個別支援計画や支援内容に反映させられるようにしている。	お子様の状態像の把握、こどもや保護者のニーズの聞き取り、把握を丁寧に行っていく。

2	就学・就労を見据えた支援を行っている。	アセスメントやモニタリングを丁寧に行ったり、ニーズや課題に基づいた支援を丁寧に行っている。 保育園・学校等、他事業所、相談支援事業所、行政、自立支援協議会等との連携を図り、情報共有を行っている。	タイムリーに情報共有できる場、機会を作り、地域社会との連携を深める。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流、行事、イベントの開催が少ない。 保護者（兄弟）同士で交流する機会を設けられていない。	個々のニーズに合わせた支援の継続した取り組みを実施することを主としていることから、イベント等への参加、行事の開催ができていない。	地域資源を活用した行事の開催を行う。（例：テオテラスやまぶきマルシェへの参加等）また、他事業所との連携を図り、イベントの共同開催等も企画していく。
2	非常災害の発生時に備えた定期的な避難、救出その他の必要な訓練の実施回数が少ない。	火災に対しての避難訓練や水害時の避難ルートの確認、不審者が来たときの避難訓練は実施しているが、その他の災害についての必要な訓練の実施が行えていない。	非常災害の発生時に備えた地域との連携、体制整備を行い、必要な訓練の実施を行う。

3			
---	--	--	--